

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	水産庁増殖推進部研究指導課	連絡先	内線 03-6744-2371
所管する業務の概要	1. 水産に関する試験及び調査研究に関すること。 2. 水産に関する技術の改良及び発達並びに普及交換に関すること並びに沿岸漁業改善資金の貸付けについての助成に関すること。 3. 漁船の検査に関すること。 4. 独立行政法人水産総合研究センターの組織及び運営一般に関すること。 5. 独立行政法人評価委員会水産分科会の庶務に関すること。		

1. 基本的な心構え・行動			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
接遇研修や接遇マニュアルを踏まえ、問い合わせ等に対する接遇意識の向上に努めている。		接遇上の問題点に気づいた場合、職員同士の積極的な注意喚起を行う。	
外部からの意見、苦情、情報提供等があった場合には速やかに課内職員で情報を共有するとともに、情報の蓄積に努めている。			
国民からの情報提供依頼等については、依頼の意図等を詳しく確認し、正確かつ丁寧な説明を行っている。 また、問い合わせ等に対する情報提供がパソコンで不可能な場合は、FAX 等により資料を送付するなどの対応に努めている。		国民からの情報提供依頼に当たっては、担当者は類似事業についての把握に努め、関係省庁、担当課など具体的な問い合わせ先をお知らせする。	

2. 政策・事業等の企画立案・推進			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
恒常的に業界紙等から情報収集を行うほか、会議等では出席者から積極的に情報収集を行うとともに、発言者の意図や背景を聞くなど、政策ニーズの把握に努めている。 また、会議等で得た情報については、会議議事録等を課内で回覧し、情報の共有化に努めている。			
		日常的に関係部署との情報交換を行うとともに、政策・事業の企画立案に当たっては、生産現場等からの情報や提案等の内容を分析・評価し、その活用に努める。	
政策や事業目的、その効果を説明する場合は、パンフレットや図表を多く取り入れたわかりやすい資料を作成・配付するとともに丁寧な説明を心がけている。		説明対象者へのアンケート調査を実施し、説明事項及び資料作成等の改善に努める。	
会議、現地調査の際に、現地の漁業者等と積極的な意見交換を行い、現場ニーズを把握するよう努めている。 また、留意すべき事項については、帰庁後速やかに管理職及び関係職員への報告に努めている。			

3. リスク管理			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
ヒヤリ・ハット事例を参考に、報告、連絡、相談を徹底し、業務改善についての検討を行っている。			
業務上の、問題点に気付いた場合は、メモを作成し、関係者と問題点の共有化を図り、迅速な対策の実施に努めている。			
各々の職員がヒヤリ・ハット事例の、内容を確認し、自分の業務に置き換え、同じようなことが起こらないよう心がけている。		ヒヤリ・ハット事例を経験した場合は、自らが事例を作成する。	

4. その他の重要な取組			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
毎週開催される課長補佐以上の課内会議に加え、月一回課内全員参加による事業等の課題等を提出し、意見交換を行うなどして職員間の情報の共有化を推進し、業務の改善に努めている。			